

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	55%	自校A B層の割合	40%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	45%	自校A B層の割合	30%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 主体的で深い学びができる授業やICTの活用について研修を行う。 若手教員中心に教科アドバイザーの授業観察と指導を定期的実施し、授業技術の向上を図る。 互いに授業を見合い、定期的に教科部会で助言をし合う。 探求学習（読書科）を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後補習教室の受講を推進する。 ミライシードのドリルパークを活用する。 小テスト、単元テストを定期的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査の準備期間に「江戸川っ子 study week!」を実施し、教科ごとに よむYOMUワークシートを週1回実施する。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 校内委員会でそれぞれの生徒の特性の理解と、個々の対応について検討し、全教員で共有、理解したうえで指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末のドリルやアプリを用いて、進度に適した課題に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者とも連携し、家庭でも課題のプリントやタブレット端末のドリルに短時間でも取り組ませ、学習内容を学校でも確認する。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への授業アンケートで。理解度の肯定的回答が75%を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力質問紙調査の「授業はよく分かりますか」の肯定的回答が75%を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力質問紙調査の「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の回答で1時間以上の割合が80%を超える。